

博士論文発表会日程一覧

※発表会日程順

論文発表会日時・場所		専攻	発表者氏名	論文テーマ
12月15日	9:30-10:30	大学美術館 B2F 展示室2	文化財保存学 (保存修復・工芸)	葉 翠馨 水干鞍伝統技法研究 —馬の博物館所蔵「鳥彫木漆塗鞍」模作を通して—
12月15日	10:00-11:00	大学美術館 3F 展示室3	日本画	牧野 香里 鳥-死の傍観者-
12月15日	10:30-11:10	大学美術館 B2F 展示室2	文化財保存学 (保存修復・日本画)	安原 成美 旧祥雲寺客殿障壁画の復元研究 —国宝「松に黄燭葵及菊図」の想定復元模写を中心として—
12月15日	11:00-12:00	大学美術館 3F 展示室3	日本画	菅原 道朝 水の循環—畏敬の風景—
12月15日	11:10-11:50	大学美術館 B2F 展示室2	文化財保存学 (保存修復・日本画)	李 艶梅 文化財保存修復理念による壁画の復元研究 —キジル第17窟「立仏図」の複製制作を通して—
12月15日	13:00-14:00	大学美術館 3F 展示室3	日本画	澁澤 星 越境の時空—暗示と想起の形—
12月15日	14:00-15:00	大学美術館 3F 展示室3	日本画	上原 由紀子 潜む獣性—飢餓感のフォルム—
12月16日	10:00-11:00	絵画棟 1F アートスペース	油画	大橋 文男 風習とアート —風習儀式に近づく構造—
12月16日	11:30-12:30	大学美術館 2F テラス	先端芸術表現	内海 昭子 イメージと見る者の間の知覚と経験について
12月16日	13:30-14:30	大学美術館 B2F 展示室1	先端芸術表現	梅原 麻紀 コラボレーションとアーカイブの研究 —アーティスト・コレクティブの実践をもとに—
12月16日	15:30-16:30	大学美術館 3F 展示室3	油画 (油画技法・材料)	菅 亮平 空虚の芸術論
12月17日	10:00-11:00	大学美術館 2F テラス	彫刻	荒殿 優花 出現の光景—「場所」と「空間」をめぐる私の神話的往還—
12月17日	11:00-12:00	大学美術館 2F テラス	彫刻	川島 大幸 光の現象をめぐる彫刻表現
12月17日	11:00-12:00	大学美術館 B2F 展示室1	工芸(陶芸)	佐々木 誉斗 装飾と造形の相互関連性
12月17日	12:30-13:30	大学美術館 3F 展示室3	先端芸術表現	知念 ありさ 「作品と展示空間の関係性の変化について —草間彌生の1958～1968年の作品展開に見る—」
12月17日	14:00-15:00	大学美術館 B2F 展示室1	工芸(陶芸)	岡崎 春香 磁器による美少女フィギュアの表現
12月17日	14:00-15:00	大学美術館 3F 展示室4	先端芸術表現	宮坂 直樹 観照の円滑な転換
12月17日	15:00-16:00	大学美術館 3F 展示室3	油画	高島 依子 織りの解体と再生-The Hands of Anni Albers and Agnes Martin-
12月17日	15:00-16:00	絵画棟 1F アートスペース	彫刻	菱山 裕子 舞台芸術と彫刻
12月17日	15:45-16:45	大学美術館 3F 展示室4	先端芸術表現	笹川 治子 メディアのなかの戦争 戦争画からゲームまで
12月21日	13:00-14:00	中央棟 第5講義室	芸術学(美術教育)	長尾 幸治 美術教育における技術の位置付け—手工教育思想の考察を通して—
12月21日	15:00-16:00	大学美術館 B2F 展示室1	建築 (構造計画)	砂山 太一 演算的設計手法 その有為性
12月22日	13:00-14:00	大学美術館 B2F 展示室2	文化財保存学 (保存修復・建造物)	植松 みさと 文化財建造物における障壁画の保存管理に関する研究
12月22日	14:00-15:00	大学美術館 B2F 展示室2	文化財保存学 (保存修復・彫刻)	中村 恒克 宝菩提院菩薩半跏像および道明寺十一面観音菩薩立像の作風表現および 造像技法における唐の影響について —両像の模刻制作を通して—
12月22日	15:00-16:00	大学美術館 B2F 展示室2	文化財保存学 (保存修復・建造物)	湯本 桂 近代の歴史的建造物における構造補強と設備改修に関する研究 —旧東京科学博物館本館を中心とした考察—
12月22日	18:20-19:20	中央棟 第3講義室	芸術学 (西洋美術史)	武笠 由以子 1940年代における抽象表現主義作家たちの初期作品 ——シュルレアリスム受容から新しいアメリカ美術の確立へ——
12月24日	11:00-12:00	大学美術館 B2F 展示室1	デザイン	ライラ・フランセス・ カセム グラフィックデザインの視覚伝達スキルが切り開く、社会的弱者の 創造活動を社会事業化するインクルーシブデザインの新しい地平
12月24日	11:00-12:00	中央棟 第3講義室	芸術学 (美学)	守谷 広子 ロラン・バルトの記号学的文学論と文学的活動としての講義 ——理論と実践の照応関係の確認——
12月24日	11:00-12:00	中央棟 第5講義室	芸術学(美術教育)	栗田 絵莉子 中等教育における「探求」する美術教育 —デュイの経験論と玉川学園での実践を手がかりに—
12月24日	13:00-14:00	大学美術館 3F 展示室4	油画	升谷 絵里香 ティッピング・ポイント:無へ転化され立ち上がるアート